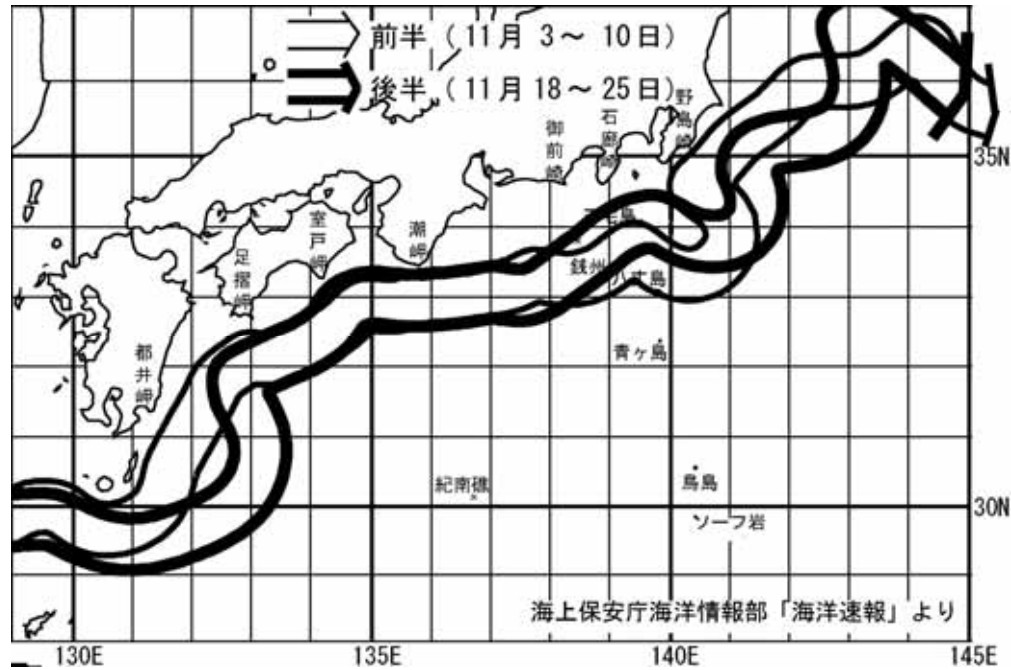


漁海況月報

No. 11 ~ 11月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)

平成26年11月1日



11月定地水温の旬平均値() (下段は年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	20.4	21.1	21.0	19.8	19.9	19.8	19.1
	0.4	0.4	0.8	-1.2	-0.3	-0.1	0.0
中旬	19.2	20.0	20.2	18.4	18.0	18.3	16.3
	0.0	0.2	1.0	-1.9	-1.6	-0.6	-1.8
下旬	18.3	19.2	19.2	19.3	18.3	17.6	16.8
	0.0	0.3	0.8	0.2	-0.4	-0.3	-0.2
月	19.3	20.2	20.1	19.2	18.7	18.5	17.4
	0.1	0.4	0.8	-1.0	-0.7	-0.4	-0.7

[黒潮流路]

前半の黒潮は、遠州灘沖の33.5°N付近を東に進み、三宅島付近を通過した後、伊豆諸島の東で蛇行した。その後、房総半島に向かって北西に進み、房総半島に接岸して流れた。後半は、遠州灘沖の33.5N 付近を北東に進み、三宅島付近を通過した。伊豆諸島東側の小蛇行は房総半島沖に東進し、前

半よりも房総半島から離岸して流れた。

[県下沿岸域]

相模湾側では月を通じて、伊東、稲取では「平年並」、下田では「やや高め」であった。駿河湾では上旬は曇見で「やや低め」の他は「平年並」、中旬は焼津で「やや低め」の他は「低め」、下旬は「平年並」であった。

[竿釣カツオ]

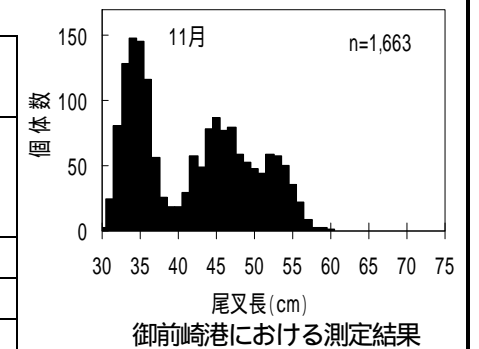
11月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚量は42トで前年同期の91%であった。

漁場は31~34°N、137~139°E付近の遠州灘沖、石廊崎沖、伊豆諸島海域を中心に、尾叉長34cmモード(チン)、45cmモード(小)、52cmモード(中)のカツオを漁獲した。

魚価は727円/kgで近年にない高値であった。

竿釣り(近海船+沿岸船)カツオ水揚量 (県内主要5港計)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
26年11月上旬	32	17	1.9	815
中旬	9	7	1.3	452
下旬	1	2	0.6	467
26年11月計	42	26	1.6	727
25年11月計	46	22	2.1	362
24年11月計	32	9	3.6	344



[定量網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は232トンで、前年の同漁場の水揚量(199トン)の1.2倍となった。また、1か統あたりの水揚量は33.2トンで前年(28.4トン)の1.2倍、平年(昭和57~平成25年の平均41.9トン)の0.8倍となった。なお、北川漁場は1日のみの操業である。

魚種別の漁獲量をみると、さば類、スルメイカ、ハガツオの順に多く、さば類はゴマサバ主体であった。伊豆山、古網漁場ではヤマトカマスが、川奈、古網漁場ではブリが大半を占めた。

漁場別の漁獲量では、川奈漁場が52.6トン(さば類、ブリ、スルメイカなど)、伊豆山漁場が52.0トン(さば類、ヤマトカマス、アカカマスなど)、古網漁場が42.5トン(さば類、スルメイカ、ヤマトカマスなど)の順に多かった。

伊豆半島東岸大型定置網7か統で多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	92.8	1.3	1.2	川奈、伊豆山、北川
スルメイカ	25.1	8.6	2.6	富戸、古網、川奈
ハガツオ	22.1	216.8	-	赤沢、川奈、古網
ヤマトカマス	19.8	11.7	5.5	伊豆山、古網、富戸
ブリ	16.7	3.0	2.1	川奈、古網、伊豆山

【サバたもすくい・棒受網】

小川港ではゴマサバ 286 トン（前年同月比 41%）が水揚げされた。1 隻あたり水揚量は 28.6 トン（前年同月比 93%）であった。1 kgあたり平均単価は、83 円で前月（73 円）を上回り、前年同月（83 円）と同じであった。

今月は棒受網のみの操業で、ゴマサバ主体であった。漁場は上旬から中旬は三本、下旬は三本と三宅で、27 cmにモードを持つ1 歳魚主体であった。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
26年 11月上旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中旬	-	162	2	4	-	40.4	-	82	三本
下旬	-	124	3	6	-	20.7	-	85	三本、三宅
26年11月 計	-	286	5	10	-	28.6	-	83	三本、三宅
25年11月 計	-	705	9	23	-	30.6	-	83	三本、三宅
24年11月 計	-	635	9	18	-	35.3	-	58	三本、三宅

水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。表中の「-」は漁獲が無かったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

平成 26 年秋漁は、10 月 30 日晚が初漁日であった。11 月は出漁 6 日、水揚量は 133 トンで、前年同月の 129 トンをやや上回った。漁場は主に焼津～大井川沖に形成された。

また、漁獲されたサクラエビは、体長 29 mmにモードを持つ当歳エビと 38 mmにモードを持つ1 歳エビで構成され、年齢別割合は1 歳エビが約 6 割、当歳エビが約 4 割であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成 26 年 11 月 上旬	7	1	平均 117	焼津～大井川沖
中旬	38	2	平均 317	焼津～大井川沖
下旬	88	3	平均 488	焼津～大井川沖
平成 26 年 11 月 計	133	6	平均 370	焼津～大井川沖
平成 25 年 11 月 計	129	7	平均 306	焼津～大井川沖
平成 24 年 11 月 計	118	7	平均 281	戸田沖、三保～大井川沖
平成 23 年 11 月 計	153	5	平均 508	焼津～相良沖

【シラス船曳網】

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾が 397 kg、遠州灘が 382 kgであった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 387 kgと前年同期(206 kg)の 1.88 倍、平年同期(過去 5 か年平均 481 kg)の 81%であった。

また、総水揚量は 756.0 トンで前年同期(430.0 トン)の 1.76 倍、平年同期(428.1 トン)の 1.77 倍で、平成元年以降の 26 年間で最高であった。

平均単価は 640 円/kgと前年同期(936 円/kg)の 68%、平年同期(456 円/kg)の 1.40 倍であった。

シラス水揚量（主要 6 港計）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	51.3	14	167	307	722
舞 阪	224.9	15	629	358	619
福 田	160.0	15	396	403	598
御前崎	70.0	12	132	530	540
吉 田	131.4	15	330	398	657
静 岡	118.7	15	300	396	741
平成26年11月計	756.0	86	1,954	387	640
平成25年11月計	430.0	87	2,085	206	936
平成24年11月計	740.0	69	1,539	481	465

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。
平年同期：過去 5 か年（平成 22～26 年）平均値

【まき網】

小川港ではマイワシの水揚量は 69.9 トンで、平年同期(37.5 トン)の 1.86 倍であった。沼津港ではマイワシが 18.2 トンの水揚げで平年同期(93.0 トン)の 20%、カタクチイワシの水揚げは無かった。静浦港ではマイワシ、カタクチイワシの水揚げは無かった。伊東港ではマイワシの水揚げは 124.2 トンで平年同期(88.6 トン)の 1.40 倍、カタクチイワシの水揚げは無かった。

平年同期：過去 5 か年（平成 22～26 年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

11月 1日	小川港さば祭り（一般公開）参加	(1日間)
11月 4日～11月 5日	地先定線観測調査	(2日間)
11月 10日～11月 11日	サクラエビ漁場探索（IKMT）調査	(2日間)
11月 17日～11月 18日	さば類釣獲試験及び標識放流調査	(2日間)
11月 20日～11月 21日	ハダカイワシ資源化（MOHT）調査	(2日間)
11月 25日～11月 26日	ハダカイワシ資源化（MOHT）調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>
右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

